

令和8年度 学校経営計画

学校教育目標	夢と志をもち、自ら学び、共によりよく生きようとする砥川っ子の育成 「勤儉力行」～ 大切な自分 大切なみんな ～	
学 校 像	子 ども 像	教 師 像
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさついっぱい为学校 ・落ち着いた安心安全な学校 ・地域に愛され信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤 まじめに取り組む子ども ・儉 けじめのある生活をする子ども ・力 力を出し切り協力できる子ども ・行 自ら進んで行動する子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添う教師 ・学び続ける教師 ・楽しく協働する教師
校長の経営方針	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ～ 自他の生命や人権を尊重する心、自己肯定感・自己有用感の育成 ～ 人権教育の視点を持った教育活動全体を通して、自分のよさや可能性を認識させるとともに、あらゆる他者を尊重する態度を育てる。 </div> <p style="text-align: center;"><教育活動推進のための3つの重点></p> <ul style="list-style-type: none"> I 教職員の協働意識・チーム支援体制作り II 「学力向上に向けた取組」「発達支持的生徒指導」 III 子どもの困り感に寄り添う支援、外部機関・地域との連携 	
教育目標達成のための重点取り組み		
項 目	重点取組内容	本年度の具体的な取組
①学力の向上 (ICT活用教育を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の基本的な学習習慣の育成 ○校内研究の推進による授業力向上 ○一人1台端末の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「立腰」「か・つ・お」等、学習規律の徹底と、家庭学習の習慣化への取組。 ・人権が尊重される授業作り。 ・学びのUD化、話し合い活動の工夫。 ・意欲を育む指導と評価の充実を図る。 ・一人一台端末の使用方法を職員間で共有し、活用力を高め合う。
②心の教育 (いじめ防止を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動 ○いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ○児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための教育活動 ○子どもの困り感に寄り添う支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・心をつなぐ活動づくり（年間を通した人権教室・人権集会等の計画的な実施）による人権意識の涵養。 ・人権意識を育む環境作り。 ・道徳教育やいのちの学習を通して、自他の生命を尊重する心を育てる。 ・定期的な心のアンケート実施やいじめの定義の周知徹底を図り、児童が安心・安全な学校生活が送れるようにする。 ・職員間の「発達支持的生徒指導」の浸透（職員研修・振り返りの設定） ・子どもの望ましい行動を増やす意図的な働きかけ（ほめる・認める） ・覚知した児童の状況について管理職や教育相談担当、担任等と情報共有を行う体制を

		<p>整備、構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関（SC、SSW、支援センター、子ども家庭課ほか）との連携。
③健康・体づくり	<p>○望ましい生活習慣の形成</p> <p>○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と協力し「早寝・早起き・朝ご飯」の取組の徹底を図る。 給食センター等と連携し、食の大切さや世界の状況を理解させる指導を行う。
④業務改善・教職員の働き方改革の推進	○業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> 行事や会議を効率的で効果的に凝縮し、子どもと向き合う時間を確保する。 全職員で業務改善策を検討しボトムアップ方式での取組を推進していく。 定時退勤日（毎週金曜日）の設定 業務に注力する内容の軽重を考慮することにより、個人の勤務超過時間を平均40時間以内にすると共に、年休取得日数1人あたり14日以上を目指す。
⑤特別支援教育の充実	○特別支援教育に対する教職員の知識・理解の更新、向上	<ul style="list-style-type: none"> 講師を招聘した研修を行い、特別支援教育について職員の専門性を高める。 個別の指導計画及び特別な教育課程の詳細な立案により、支援を要する児童への個に応じた対応を徹底する。 全職員で児童を育てるために、児童の情報共有と指導の方向性の確認を行う。 全学級でのコグトレ活用。
⑥学校独自の項目	<p>○地域との連携による互恵性のある教育活動の創造</p> <p>○南九州市立宮脇小学校とのオンライン等の交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクールを核とした、児童が地域の人・もの・ことに触れ安心安全で豊かな学習環境作りの推進。 児童が地域の方に感謝する機会をその都度設けたり、地域の行事参加等、地域に出かけて活動したりすることで、学校も地域も元気になる方途を探る。 宮脇小学校との交流活動を通して、児童同士の関わりを深めたり、それぞれの地域の歴史や文化、特徴などを発信し合ったりすることで、自他を見つめ、ふるさと砥川のへの誇りと愛着を深める。

